

# いつも3、4人のグル 走っている

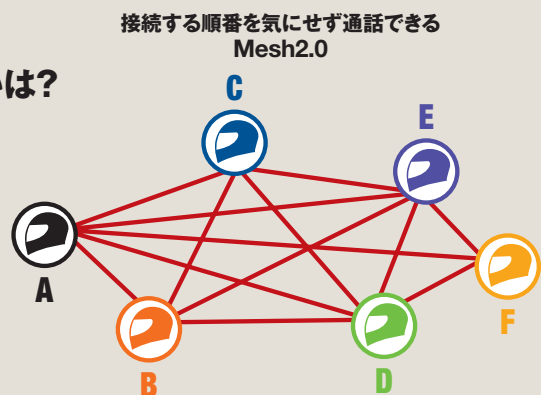
## 【ミッドレンジの特徴は？】

- 3、4人のグループでのインカム通話がメイン
- 音楽、FMラジオを聴きながら走る
- 通話可能時間は12～13時間とたっぷり
- 通信距離は1100m～1600mと十分

### Knowledge

#### ミッドレンジと ハイエンドの違いは？

セナ・インターコムの中でもミッドレンジとハイエンドの違いは、2つの通信チップを搭載した「デュアルコア」と、「セナ・メッシュ」システムが否かの違いにある。音楽を聴きながら会話をしたい、5人以上でグループ通話をしたいという必要がなければ、ミッドレンジモデルでも十分、インターコムで充実したツーリングが楽しめる



#### 10C PRO

10Sの機能そのままに最大3.7メガピクセルの動画が撮影できるカメラ一体型インターコム。映像には仲間とのインターコム通話や、自分が聴いている音楽、FMラジオなどの音声を同時に録画できる。モトブログの撮影に最適なモデルだ

価格：4万9280円  
通話可能時間：12時間  
通信距離：最長1600m

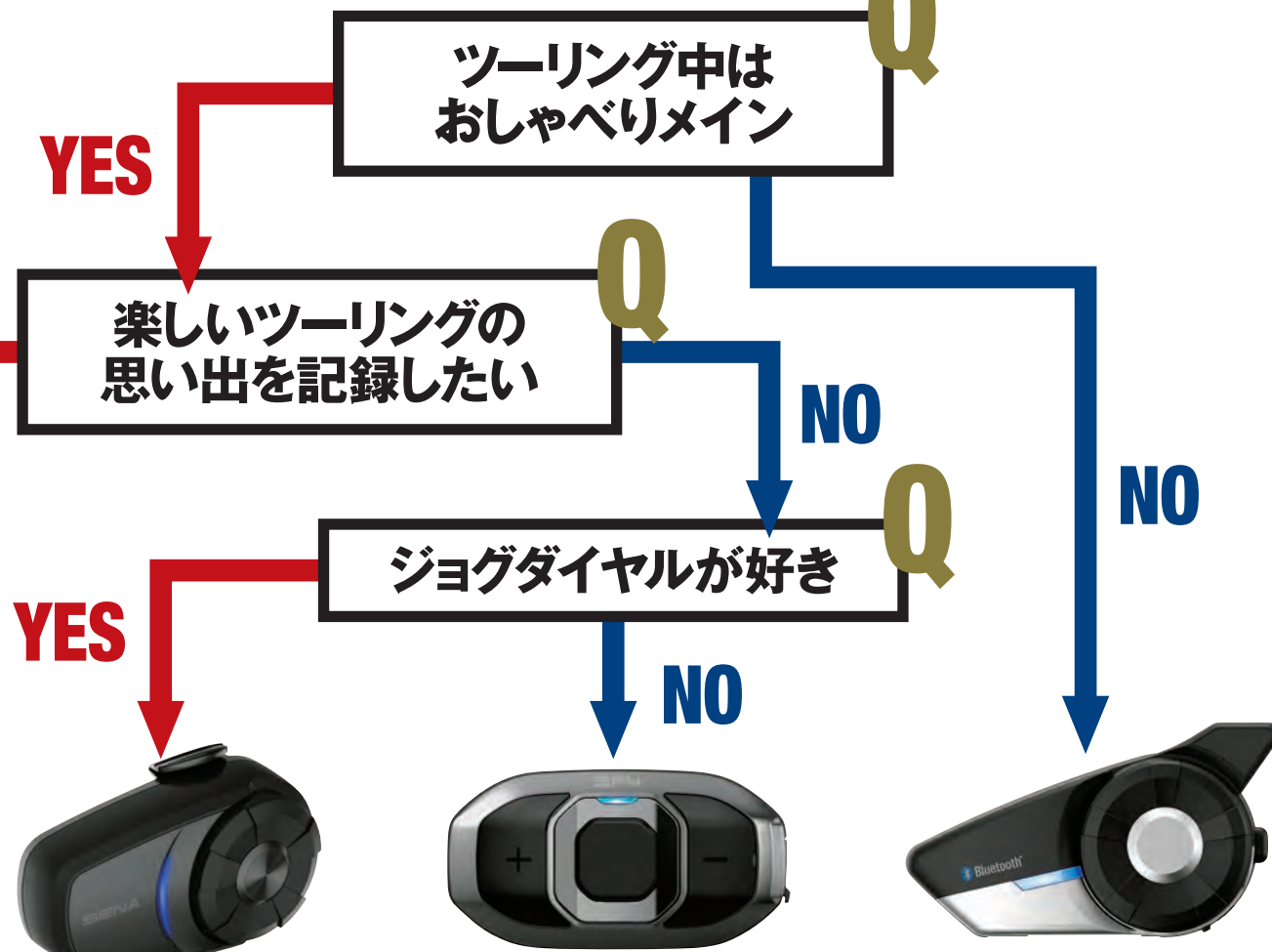
# ープで

アナタにピッタリの1台が見つかる

## Sena Intercom Guide

豊富なバリエーションを揃えるセナ・インターコム  
その中から自分の使い方に合ったモデルを選びたい  
フローチャートで選べば、ピッタリの1台が見つかる！

文／八百山ゆーすけ  
問：セナBluetoothージャパン  
<https://senablueetooth.jp>



#### 10S

風切音などのノイズを抑える「アドバンスノイズコントロール」機能を搭載するなど、音質にもこだわった10シリーズの最新モデル。どんなヘルメットにも対応できる、マルチクランプシステムを採用している

価格：2万9040円（シングル）、5万5880円（デュアル）  
通話可能時間：12時間  
通信距離：最長1600m

#### SF4

スリムなボディに3ボタンのシンプル操作が特徴のSFシリーズの長兄。最長通信距離は1200mと必要十分で、最大で4人までのグループ通話ができる。SENA SFユーティリティアプリにも対応しており、スマートフォンから各種設定が可能

価格：2万5080円 通話可能時間：13時間  
通信距離：最長1200m

#### 20S EVO

Bluetoothチップを2個搭載しており、「オーディオマルチタスク」機能をオンにすれば、インターコム通話のバックで音楽やナビの音声案内が聞ける。こうしたオーディオソースとインターコム通話を同時に楽しみたい人のためのモデル

価格：3万4540円（シングル）、6万6880円（デュアル）  
通話可能時間：13時間  
通信距離：最長2000m

ことはできない。しかし、仲間でワイワイ話すことが主であれば、通話しながら音楽を聴く必要はそんなに高くないのでは？

インターコムは今やバイクに乗るときのオーディオシステムともいえるが、基本はやっぱり仲間と走りながら話すための道具。ミッドレンジのモデルは、しっかりと仲間とのグループツーリングがメインという重視ニーズに応えてくれる。もちろん、ソロになれば音楽やナビ音声、FMラジオといったオーディオソースを楽しむことだってできる。

また、ハイエンドモデルは「セナ・メッシュ」システムを採用しており、ペアリングや再接続がスマートなのがメリットのひとつ。しかし、Bluetoothを専用するミッドレンジモデルも、専用のスマートフォンアプリを使うことで、視覚的に仲間をペアリングして接続できるなど、決して操作は難しくない。

さらに、セナ・インターコムのラインナップでは、ミッドレンジのモデルはバラエティに富んでいる。スタイルと使い勝手で選ぶことも可能で「10Cプロ」のように、フルHD画質の映像が撮れるというカメラ一体型のインターコムも選べるなど、選択肢の幅が広いのもメリットだ。

バラエティに富んだ  
セナのミッドレンジモデル

インターコムが最も活躍するシチュエーションは、なんといってもグループツーリングだ。インターコムを使って仲間とワイワイしゃべりながら走れば、ツーリングがさらに盛り上がる。そんな仲間とのグループツーリングで、いちばん大事なインターコムの機能が、複数の相手と同時に話せるグループ通話機能だ。

セナでは50シリーズや30Kのように、グループ通話人数の制限がない「メッシュ」システムを搭載したハイエンドモデルもあるが、実は多くのライダーが仲間と走る人数は、意外にも2～3人ということが多いという。であれば、ハイエンドモデルではなく、Bluetoothウー・インターコムで最大通話人数4人という、ミッドレンジモデルを選ぶのもひとつの手だ。

ハイエンドモデルに比べてリーズナブルな価格ながら通話距離は1100～1600m、通話時間も12～13時間とたっぷりあるなど、インターコムとしての実力はハイエンドモデルに勝るとも劣らない。

ここで紹介するモデルはBluetoothウーチップが1個（20Sを除く）なので、原則として音楽を聴きながらインターコム通話をする